

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)熊谷市銀座一丁目計画 新築	階数	地上11F
建設地	埼玉県熊谷市銀座一丁目50番1、5	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	237 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年7月 予定	評価の実施日	2022年10月20日
敷地面積	2,057 m <sup>2</sup>	作成者	木村 恵大
建築面積	612 m <sup>2</sup>	確認日	2022年10月25日
延床面積	4,266 m <sup>2</sup>	確認者	島田 祐樹



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82%

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3

音環境	3.1
温熱環境	3.1
光・視環境	3.6
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性	2.9
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

水資源	2.2
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.7
地域環境	2.5
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。	<b>その他</b> LED、省エネ設備、複層ガラスを採用。
<b>Q1 室内環境</b> 二重壁工法によりDr-50を目標値に設定 F☆☆☆☆を床・壁・天井・天井裏の70%以上の面積に採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 劣化対策等級3を取得。
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。	
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能等級4を取得。 LED照明を共用部全てに採用。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 内装の更新性に配慮し二重天井を採用した。
	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミ置き場を敷地内に設けることで敷地外への環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)熊谷市銀座一丁目計画	新BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	----------------	------	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.7	+	1.6	=	5.3
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級3を満たす			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	1.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
街並み・景観に配慮した設計とする			

: 入力欄

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)熊谷市銀座一丁目計画 新築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>			<b>3.3</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50	
1 開口部遮音性能						<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能		界壁壁厚を180mm以上とし二重壁工法によりDr-50を目標値に設定					-	<b>4.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	<b>3.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	<b>3.0</b>	0.20	
1.3 吸音							-		-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.6</b>	0.35	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50	
1 室温						<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63	
2 外皮性能		住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級4を取得予定				<b>3.0</b>	0.38	<b>4.0</b>	0.38	
3 ゾーン別制御性							-		-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.3</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.5</b>
3.1 屋光利用						<b>2.4</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 屋光率		共用部分:1.7%、住居部分:2.6%				<b>2.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50	
2 方位別開口							-	<b>3.0</b>	0.30	
3 屋光利用設備						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	
1 屋光制御		カーテン及びバルコニー庇の組合せで制御				<b>3.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	
3.4 照明制御						<b>1.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計の70%以上の面積				<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38	
1 換気量						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
2 自然換気性能							-	<b>3.0</b>	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33	
4.3 運用管理							-		-	
1 CO <sub>2</sub> の監視							-		-	
2 喫煙の制御							-		-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.8</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性							-		-	
2 高度情報通信設備対応		各住戸に1GbpsのインターネットHUBを設置					-	<b>5.0</b>	1.00	
3 バリアフリー計画						<b>3.0</b>	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観							-	<b>3.0</b>	0.50	
2 リフレッシュスペース							-		-	
3 内装計画						<b>3.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50	
1.3 維持管理						<b>2.5</b>	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計						<b>3.0</b>	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保						<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.9</b>	0.30		-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						<b>3.0</b>	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						<b>3.0</b>	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>3.6</b>	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		住宅性能表示制度 構造躯体劣化等級4を取得予定				<b>5.0</b>	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						<b>2.0</b>	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:SUS(C)、汚水排水:VP(B)、雑排水:VP(B)、Eは不使用				<b>5.0</b>	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						<b>3.0</b>	0.20		-	
2.4 信頼性						<b>2.0</b>	0.20		-	
1 空調・換気設備						<b>1.0</b>	0.20		-	
2 給排水・衛生設備						<b>1.0</b>	0.20		-	
3 電気設備						<b>3.0</b>	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						<b>3.0</b>	0.20		-	
5 通信・情報設備						<b>2.0</b>	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり							
	1 階高のゆとり			-	<b>3.0</b>	0.50	
	2 空間の形状・自由さ			-	<b>3.0</b>	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	<b>3.0</b>	0.50	
3.3 設備の更新性			<b>3.0</b>	1.00		-	
	1 空調配管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.2</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>1.0</b>	0.30		-	<b>1.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
3 地域性・アメニティへの配慮			<b>2.5</b>	0.30		-	<b>2.5</b>
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.7</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			<b>4.0</b>	0.20		-	<b>4.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.90	<b>4.0</b>	0.50		-	<b>4.0</b>
4 効率的運用			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
	集合住宅以外の評価						
	4.1 モニタリング			-		-	
	4.2 運用管理体制			-		-	
	集合住宅の評価		<b>3.0</b>	1.00		-	
	4.1 モニタリング		<b>3.0</b>	0.50		-	
	4.2 運用管理体制		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.7</b>
1 水資源保護			<b>2.2</b>	0.20		-	<b>2.2</b>
	1.1 節水		<b>1.0</b>	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			<b>2.8</b>	0.60		-	<b>2.8</b>
	2.1 材料使用量の削減		<b>2.0</b>	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		<b>3.0</b>	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		<b>3.0</b>	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		<b>3.0</b>	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		<b>2.0</b>	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材の構造により躯体と仕上材の分別が容易	<b>3.0</b>	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が	<b>3.0</b>	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		<b>3.0</b>	0.50		-	
	3 冷媒		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が一定値以下	<b>3.7</b>	0.33		-	<b>3.7</b>
2 地域環境への配慮			<b>2.5</b>	0.33		-	<b>2.5</b>
	2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		<b>2.0</b>	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		<b>3.0</b>	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			<b>3.1</b>	0.33		-	<b>3.1</b>
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40		-	
	1 騒音		<b>3.0</b>	1.00		-	
	2 振動		-	-		-	
	3 悪臭		-	-		-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40		-	
	1 風害の抑制		<b>3.0</b>	0.70		-	
	2 砂塵の抑制			-		-	
	3 日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		<b>3.7</b>	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない	<b>4.0</b>	0.70		-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		<b>3.0</b>	0.30		-	